

# 全員参加、みんなで運動を楽しむ 子どもの育成

## 大分県大分市立大在小学校

全校児童数	472名(男子255名 女子217名)		
全クラス数	16	教職員数	37名
体育専科教員訪問学校数			1校
訪問校	大在西小学校		
体育専科教員名		橋本 嘉明	

### Plan：取組時の課題と計画

#### 1 取組時の課題

- ① 昨年度の期末アンケートにおいて「体育の授業でたくさん体を動かしている。」に肯定的な回答を示した児童は97%である。体力テストの質問用紙の項目「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることが好きですか」の項目でも肯定的回答は88.3%と比較的高い傾向にある。しかしながら、運動を普段からする児童としない児童の二極化もあり体育の授業にもそれが表れている。
- ② 運動への意欲や取り組みは比較的高いものの、体力の現状については、昨年度の体力テストでC以上の評価の児童は73%、特に50m走と握力は大きく全国平均を下回っていた。日常での運動や遊びで継続的に力をつけていく必要がある。

#### 2 取組の計画

- ・子どもが自ら活動したくなるような場の設定や授業の展開をし、休み時間の外遊びにつなげる。
- ・一校一実践を含め、年間を通して体力づくりの活動を仕組む。

### Do：実践内容

#### 1 授業改善

##### (1) 担任の教材研究の推進。

- ① 作成した指導案をもとに担任をT1として準備や指導をしてもらい、T2としてサポートに入る。
- ② 小中連携の中で中学1年生が取り組む運動について確認し、それを踏まえて高学年が取り組む授業内容について話し合う。

#### 2 運動の日常化

- ① 毎月「体力名人」の目標設定を行い、全校で取り組む。
- ② 学期に2回「体育通信」を発行し、家庭で簡単にできる運動の紹介をする。長期休暇には「お家で体育カード」や「なわとびカード」を配布し、家庭と連携して運動の日常化に取り組む。
- ③ ジャンピングボードの設置など、場の設定を行う。

### ●工夫したこと (&苦勞した点)

#### ① 授業改善

体育用具の充実などの環境整備。運動が苦手な子でも取り組めるような場の設定。すぐにでも取り入れられるような簡単に効果的な授業の展開。また、単元の1時間目にオリエンテーションを行い、落ち着いてワークシートの使い方やルールを確認する時間をとった。

#### ② 運動の日常化

体育の時間や休み時間に取り組みやすい「体力名人」の目標設定。「お家で体育カード」での家庭でも取り組みやすい運動、ストレッチの提示。外遊びの奨励。

### Check：取組の成果

#### ① 授業改善

- ・ 单元ごとのつけたい力を明確にすることで、体育の授業改善につながった。
- ・ 「大在体操」を取り入れたことで準備運動の効率化が図れ運動の時間が増えた。
- ・ 全教職員で体育の授業改善に取り組むことで、子どもたちの満足度も上昇した。

#### ② 運動の日常化

- ・ 休み時間にバトンスローや鉄棒など月毎の「体力名人」の項目に積極的に取り組む子どもが増えた。
- ・ 夏休みや冬休みにチャレンジ課題としてワークシートを配布することで家庭でも運動に取り組む子どもが増えた。

### Action：今後の課題

- ① 一校一実践の取り組み内容の検討
  - ・ 学年に合わせたレベルの設定
- ② 学習内容の精選と教具及び教材の開発。
- ③ 小中連携を意識した学習内容の取り組み。
- ④ 新しく来た教職員でも取り組みやすいように体育用具の整理。
- ⑤ 家庭への「早寝・早起き・朝ごはん・朝の歯磨き」の意識改革と奨励の取り組み。

### ◎体力向上の取組がもたらす波及効果

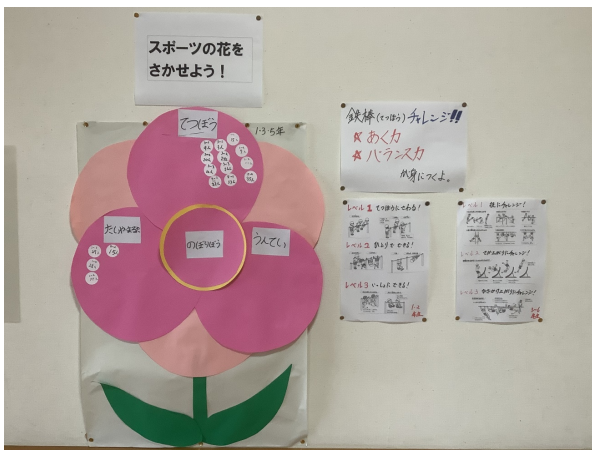
- ・ 運動の日常化と運動に対する愛好度の上昇。
- ・ 基礎体力の向上による、授業見学者の減少。

### 総括

- 子どもたちが自分の力に合わせた練習ができるような場を設定すれば、積極的に体を動かして授業に対する満足度も高くなることが分かった。
  - 安全マットはその大きさと柔らかさから子どもたちの不安の軽減につながった。
  - 「ボール運動」などのゲーム性のある単元の初めにオリエンテーションを行うことでルール共有やワークシートをより効率的に使えるようになった。
- △短時間で場の設定ができるような工夫が必要。

### 実践内容

#### 月の体力名人「スポーツの花」



2週間ごとに授業や休み時間に指定された校庭の遊具を使って運動をした人数を体育委員が聞いて回った。

発達段階に合わせた鉄棒の技を「スポーツの花」の横に掲示した。

#### 成果

- ・授業の時間に扱うことで休み時間にも積極的に遊具を活用する子どもが増えた。
- ・集計をすることで担任の中に運動させる必要性が生まれた。

#### 課題

- ・取り組み状況の調査だけでなく、遊具ごとの各学年に合わせた目標設定が必要だと感じた。

#### 「体育通信」の発行



学校での体力向上の取り組みについてその目的や運動で意識しているところをお知らせした。

家庭でも準備や時間が少なくてもできる運動を写真やポイント付きで解説し、取り組みの呼びかけをした。

#### 成果

- ・家庭に学校の取り組みについて知ってもらいいい機会になった。

#### 課題

- ・チャレンジコーナーの各家庭での取り組み状況が分からない。